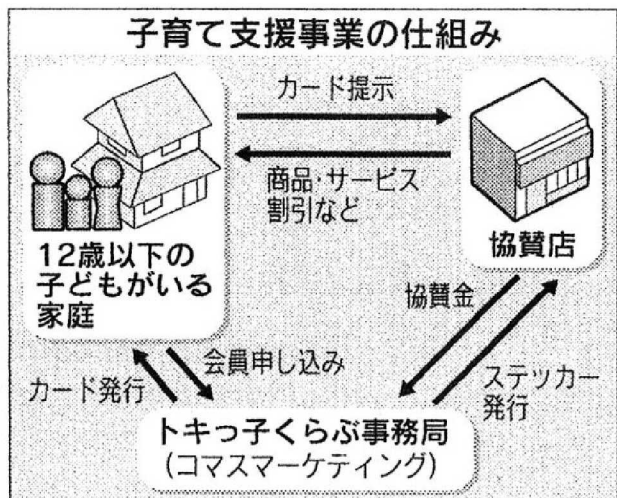


コマスマーケティング

子育て支援事業進出

会員組織 入会すれば 協賛店割引サービス

営業支援コンサルティングのコマスマーケティング(新潟県長岡市、今井進太郎代表)は、県内の子育て世帯の支援事業に乗り出す。同社が運営する会員組織のメンバーとなった世帯に優遇カードを発行し、協賛店での買い物の割引サービスなどを受けられるようにする。民間主導で少子化対策に乗り出し、支援のすそ野を広げたい考え。



コマスマーケティングの会員組織は「トキッコくらぶ」で、四月から本格的な運営に入る。県内の十二歳以下の子どもが協賛店となっているのは飲食店、美容室、パン店、写真館などで、商品・サービスの割引など優遇内容は各店で決める。協賛店は年間一万五百円の協賛金を払う。大手スーパーなどにも協賛店



トキッコくらぶの会員カード①と協賛店用のステッカー

加入を働き掛けている。会員は協賛店でカードを提示すれば優遇サービスを享受される。カードにはQRコードがついており、携帯サイトで協賛店や優遇内容を確認することもできる。

会員数は当面一万世帯を目指しており、将来は県内に十二歳以下の子どもがいる約十六万世帯の1―2割を目標にしている。協賛店は四月までに五百店を増やし、その後千店台を目指す。

また、食品メーカー、住宅会社など、子どものいる家庭の需要が多い企業を対象に「サポート企業」も募集している。ホームページで子育て世帯に紹介するほか、企業の各種イベント情報なども発信する。

事務局では協賛店や子育てに関する情報などを掲載するフリーペーパーを七月に発行する予定で、協賛店の店頭に置いてもらい集客に役立てたい意向だ。